

令和4年5月6日

() 御中

日本放射化学会 会長
篠原 厚
日本放射化学会第66回討論会(2022)実行委員会
高橋嘉夫(委員長・東京大学大学院理学系研究科・
アイソトープ総合センター長)

「日本放射化学会第66回討論会(2022)」協賛のお願い

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日本放射化学会の運営、活動等に対しまして、学会賛助会員の皆様におかれましては、日頃より多大なご協力、ご支援を賜り心より御礼申し上げます。

さて、別紙の案内にありますように、「日本放射化学会第66回討論会2022」が、令和4年9月15日(木)～17日(土)に東京大学理学部1号館(小柴ホールなど)にて、日本化学会、日本分析化学会、日本原子力学会、日本核医学会、他関係学協会の多数の共催を得て開催される予定です。

日本放射化学会は、創設20周年を迎えた一昨年に新法人となり、関連分野を代表する学会として新たなスタートを切っております。既に学会組織の整備強化、将来構想に基づくこの分野の活性化、学会主導プロジェクトの推進などを進め、活力ある教育研究の交流の場の提供と社会貢献に尽力しております。そのためには会員、特に若手会員の増強、関連学協会との連携の強化が重要であると共に、関連企業等のご理解とご支援が不可欠です。

翻って放射化学・放射線関連分野では、ニホニウム発見などの新元素探索、がん治療への核医学の貢献の急進展、世界的エネルギー資源不足による原子力依存の継続や原発事故・廃炉・放射性廃棄物地層処分などの課題に関わる放射性核種の動態の解明、新しい分析法開発による「はやぶさ2」プロジェクトなどへの貢献など、人類の夢と安全安心に関わる様々な研究分野で、目を見張る進展がみられています。

今回の討論会では、このような背景から、本会策定の放射化学ロードマップに基づく放射化学の将来発展の展望、次世代育成に向けた特別セッション、関連学協会との連携セッション、若手の会の支援に加え、企業によるポスターセッションや小柴ホール前での企業展示なども検討致しております。なお本会では、2022年9月に国際会議APSORC2022(環太平洋放射化学会議)の開催を予定しておりましたが、COVID-19のためアジア地域からの参加者が見込めないことなどから、APSORCの開催を2025年に延期し、本年は急遽国内学会である放射化学討論会を東京大学本郷キャンパスで、対面方式にて開催することと致しました。なお、参加者増を期して、聴講のみの場合には、オンラインも可能とする予定です。

そこで、これらの分野に関係がおありの御社には、本会の趣旨にご理解とご賛同を賜り、下記によりご支援を賜りますよう何卒よろしくごお願い申し上げます。本討論会は、1957年に第1回を東大主管(学生会館)で開始して以来、66回を迎える伝統ある学会でもあります。是非東京の地からこの分野の将来における更なる振興を目指すために、御社のご協力を賜りましたら大変幸いに存じます。どうかよろしくごお願い申し上げます。

敬具

－ 記 －

1. 趣旨 本討論会の開催趣旨にご賛同頂き、その運営にご支援頂きたく存じます。

なお、協賛金は、若手会員の活性化への支援、特別セッション、イブニングセッション等への運営の一部に充てさせていただきます。

2. 協賛額 1口 50,000円

3. 申込締切日 2022年7月15日（金）

4. 申込方法 別紙の申込書にご記入の上、E-mail, FAX または郵便でお送りください

5. 申込先・問い合わせ先

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院理学系研究科

高橋 嘉夫

Tel: 03-5841-8076 Fax: 03-5841-8791

E-mail: info-sorc66@ric.u-tokyo.ac.jp

年会ホームページ <https://confit.atlas.jp/sorc2022> (6月下旬公開予定)

(暫定版：<http://www.radiochem.org/event/forum.html>)

*協賛用ファイルダウンロード可能)

放射化学会ホームページ <http://www.radiochem.org/index-j.html>

なお、協賛頂けます場合は、以下の内容で御社のご貢献を会員や関係者に周知し、感謝の意を表したく思います。

・大会ホームページに貴社ロゴマークを表示し、貴社へのリンクを張らせていただきます。

・プログラム冊子への広告（1頁）を掲載させていただきます。

（なお、御社は学会の賛助会員として、今回の協賛にかかわらず1/2ページの広告は掲載させていただきます）

・協賛1口につき1名様を懇親会にご招待いたします。

また、ポスターセッションでの**企業広報セッション**や、**機器展示・デモストレーション**のための**展示スペース**の提供を計画しております。ご希望の有無を申込書に記載頂けましたら、改めて御案内申し上げます。

日本放射化学会第 66 回討論会(2022) 協賛申込書(賛助会員用)

日本放射化学会第 66 回討論会(2022)に協賛し、以下のとおり協賛金を支援いたします。

令和____年____月____日

御社・団体名：_____

協賛金額：_____円(____口)

払込予定月 2022年____月

ご担当者名：_____

ご担当者連絡先

住所_____

電話_____ファックス_____

電子メール_____

確認事項

- ・プログラム冊子への広告掲載(1頁)について(もし広告不要の場合はお知らせ下さい)
- ・展示ブースのご希望(有・無)
- ・企業広報セッションへの参加(有・無)
- ・その他ご意見ご要望など

協賛金送金先 ゆうちょ銀行

口座名義：一般社団法人 日本放射化学会 シヤ) ニホンホウシャカガクカイ

郵便局から振込の場合 記号・番号：14040 75057621

銀行から振込の場合 店名(店番)：四〇八 (ヨンゼ'ロハチ)店 (408)

預金種目：普通 口座番号：7505762